

園長通信

(令和7年度11月号)

幼稚園型認定こども園高槻双葉幼稚園
園長 岡部 祐輝

【「みんなちがってみんないい」のか という視点・・・】

10月上中旬に、年少運動会参観、そして年長・年中運動会と無事終了することができました。子どもたちの日々の頑張りや葛藤など思いを家庭で受け止めていただき、取り組みの過程にもしっかりと目を向けてご対応いただきました、ご家庭の皆様に深く感謝申し上げます。

さて先月号では、みんなで取り組むことの良さと、立ち止まって考えることが必要な視点を言及しました。運動会の取り組みのように、「みんなが周りにいる」、「みんなの中に私がいる」と感じる経験や機会は大変重要ですが、個々の子どもたちの取り組み方、モチベーションの在り方などは、幼児の場合、どの校種の子どもよりも個人の違いが大きくなります。

「何ができたか」に私たち大人はどうしても目を向けがちですが、「何が育ったか（育とうとしていたのか/可能性）」、「運動会という機会がその子にとって何を働きかけてきたか」という視点で見ていくことも、近年の教育の視点では重視されてきています。（参考：アフォーダンス理論/J・ギブソン）

このような議論が進むと、いわゆる「個性」、「その子らしさ」などからなる「多様性」の話題が出てきます。もちろんどのキーワードも尊重されている状態は社会の中で大切な視点だと考えます。

今回はあえて、この視点で考えたいと思います。

多様性ですが、議論の切り口により、時に「**分断を助長する**」リスクを含んでいるという議論があります。この投稿のタイトルにつけた、「みんなちがってみんないいのか」というワードは、「みんな違ってみんないい」のか（山口裕之、ちくまブリマー新書（2022））」という書籍から引用をしています。この本の中で、『**「正しさは人それぞれ」「みんなちがってみんないい」といった主張は、多様性を尊重するどころか、異なる見解を権力者の主観によって力任せに切り捨てることを正当化することにつながってしまう**』という指摘をされています。もちろんみんな違うことを尊重するという考え方は、私個人としても大切にしたい価値観の一つですし、「私にとっての普通が世間の普通と必ずしもイコールになるものではない」という認識を持つことも、態度としては見落とせないことかと思えます。ここではそれらを否定しているのではなく、時に留意していないと、「**あなたと私は違うからわかりあえないよね（わかりあう努力をしなくてもいいよね）**」ということを助長することがあるということに立ち止まる必要があるのではないかという認識をしています。

また別の切り口でも考えると、「お互いの意見・主張が違うので、それぞれの意見や主張をそもそも侵さないようにしよう」というようなことも起こってしまい、対話や分かり合おうとする機会を失う懸念もあります。例えば以下のような例です。

（例）Aさんは何かされたら「ありがとう」ということが普通と思っている。Bさんは感謝されるためにしているわけではないので、何かされても「ありがとう」ということはない。Aさんからすると、Bさんの態度は気に食わないが、それを指摘して争いになっても面倒なので、波風を立てないようにしよう。

感覚的なことですが、日本の文化として「謙虚」、「調和を取る」ということを美德とする考え方があるように感じます。しかし私個人として違和感があることは、「調和を取るということはすべて我慢して言いたいことを言わず相手に合わせることなのか」ということです。

これまでいろいろな園に訪問したり、他園や養成校で研修、授業をさせていただいていますが、実は園や学校によってもこの「調和」の雰囲気は大きく異なります。嫌なことがあっても我慢をしてその場をうまく乗り切ろうとする子ども。「～がいややった」、「私も～がいややった」と主張しあったうえで、落としどころを探ろうとしている場面などいろいろとあることがわかってきました。(大人も子どももです)

なんでもかんでも争いなさい、こだわいなさいという意味ではないですし、もちろん言い方や相手の立場も踏まえつつ、敬意をもって話す必要はありますが、「調和を取る」＝「我慢しましょうね」のワンパターンで扱わないこと、そして、「話せばわかるって」という理想論だけではない、**分かり合うことや主張することをあきらめず、「対話をして進めよう」とする感度を高めていく経験をする**ことも、教育の役割ではないかと考えています。

2学期も後半に入ってきました。クラスの発表会など、みんなを感じる、みんなとともに行う場面も増えるかと思います。その中で、言い争うこと、葛藤すること、困惑することなどにも出合うかと思いますが、それらの経験の尊さや価値を私たち大人が感じ、子どもたちの活動を見守る姿勢を持ちたいと思います。